

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第6週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (6週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：つつが虫病1例。5類感染症：梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	肺結核	呼吸困難、体重減少
			80歳代	女	肺結核	咳、痰
4類	つつが虫病	小林	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、倦怠感
5類	梅毒	延岡	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		中央	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は3,501人(定点当たり69.4)で、前週比86%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は786人(13.6)で、前週比76%と減少した。小林(30.5)、延岡(23.0)、中央(15.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約半数を占めた。

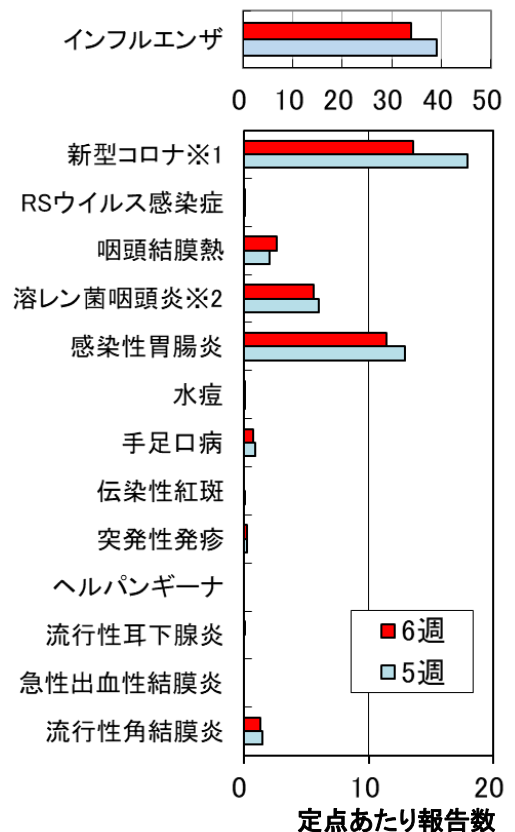
【インフルエンザ】

報告数は1,961人(33.8)で、前週比86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(13.1)の約2.6倍であった。宮崎市(45.3)、延岡(38.0)、中央(37.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約9割を占めた。

【咽頭結膜熱】

報告数は95人(2.6)で、前週比127%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.48)の約5.5倍であった。中央(13.0)、日南(5.7)、宮崎市(2.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

《前週との比較》

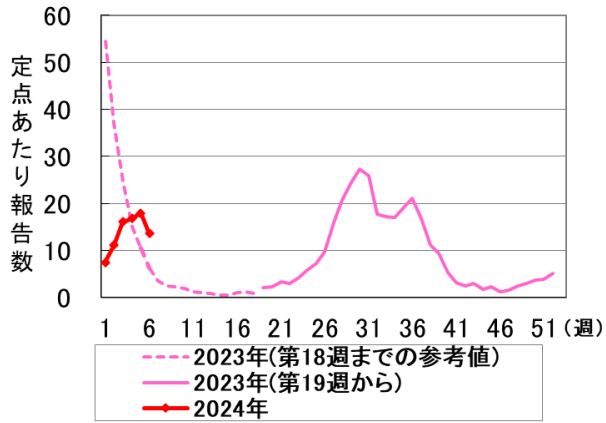


定点あたり報告数

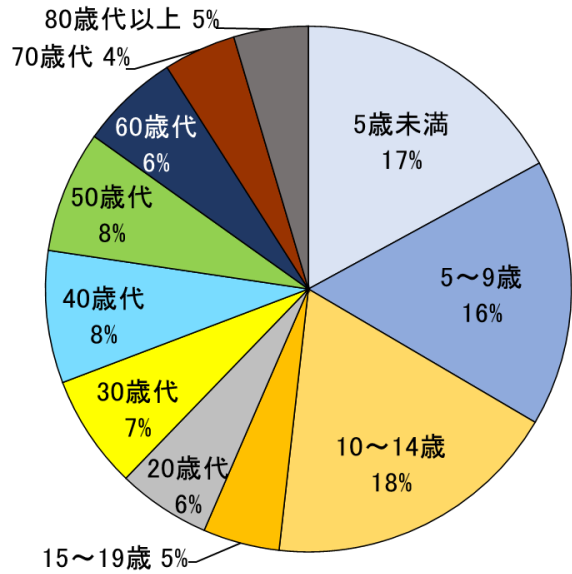
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

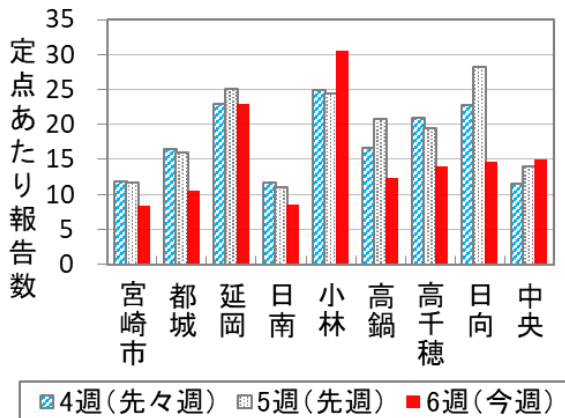


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第6週)

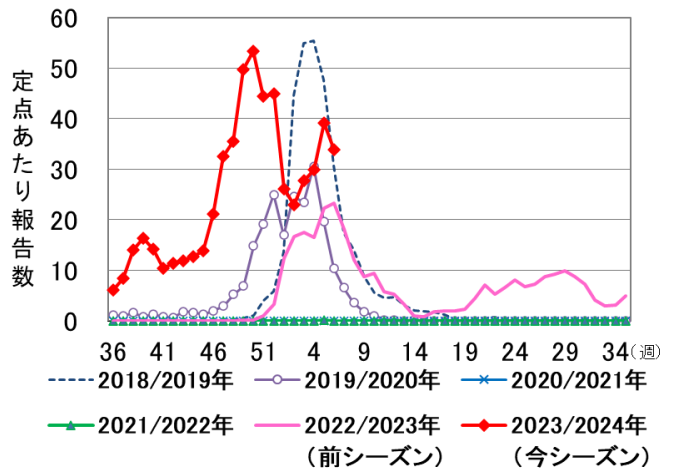


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

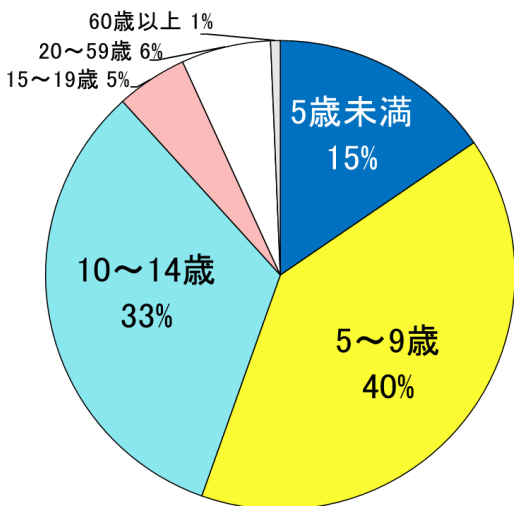
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



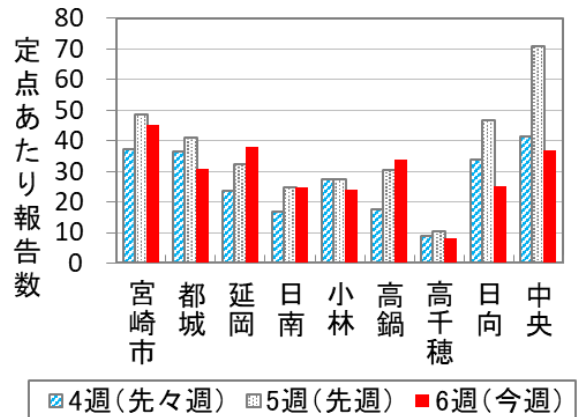
インフルエンザ 発生状況



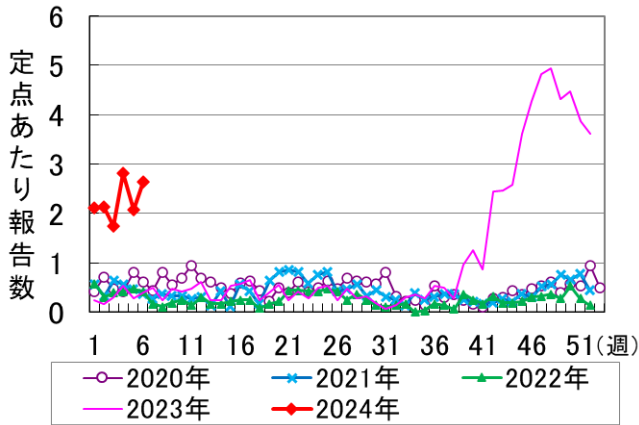
インフルエンザ年齢群別グラフ(第6週)



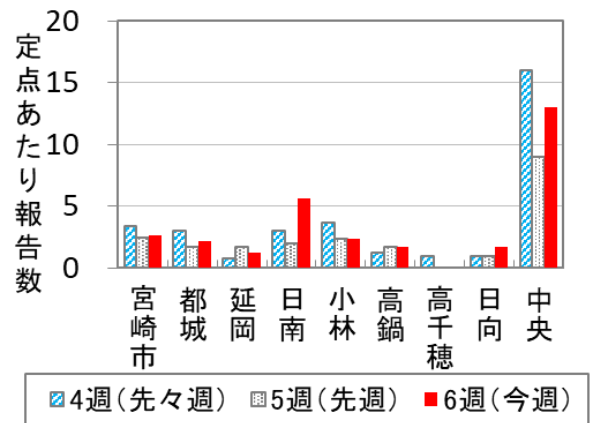
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(45.3)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
都城	インフルエンザ(30.7)
延岡	インフルエンザ(38.0)
日南	インフルエンザ(24.8)、咽頭結膜熱(5.7)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.7)
小林	インフルエンザ(24.0)
高鍋	インフルエンザ(33.8)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(25.0)
中央	インフルエンザ(37.0)、咽頭結膜熱(13.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

※流行警報レベル開始基準値※

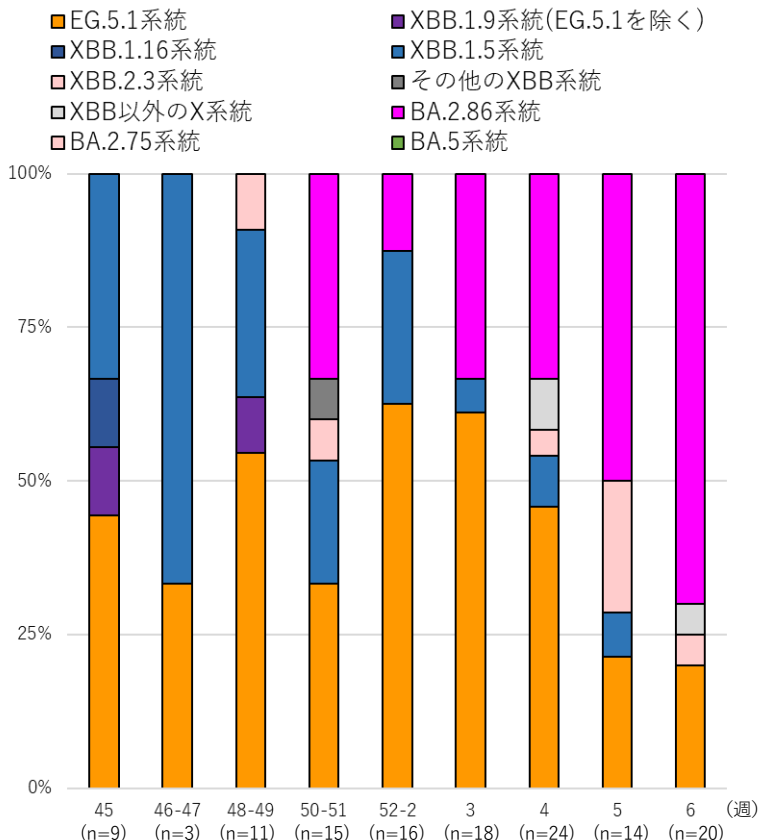
- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第6週でBA.2.86系統は70%、XBB系統が25%を占め、EG.5.1系統（XBB.1.9.2の子孫株）が20%を占めた。

※BA.2.86系統はBA.2系統の亜系統で、スパイクタンパク質はBA.2系統に比較して30以上、XBB.1.5系統に比較して35以上のアミノ酸の違いがある。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBBはBJ.1（BA.2.10.1系統）／BM.1.1.1（BA.2.75.3系統）の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

全国 2024 年第 5 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	238 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13 例				
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	2 例	エムポックス	3 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	3 例	デング熱	4 例
	日本脳炎	1 例	レジオネラ症	33 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	32 例	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	39 例	水痘(入院例)	8 例
	梅毒	175 例	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	14 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 109%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと手足口病で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

インフルエンザの報告数は 111,501 人(22.6)で前週比 118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (13.6)の約 1.7 倍であった。福岡県(57.4)、沖縄県(41.0)、佐賀県(40.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 79,605 人(16.2)で前週比 108%と増加した。石川県(24.5)、福島県(24.5)、愛知県(22.6)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2024年1月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は41人(3.2)で、前月比114%と増加した。また、昨年1月(1.9)の約1.7倍であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月の約1.1倍、昨年1月の約1.7倍であった。

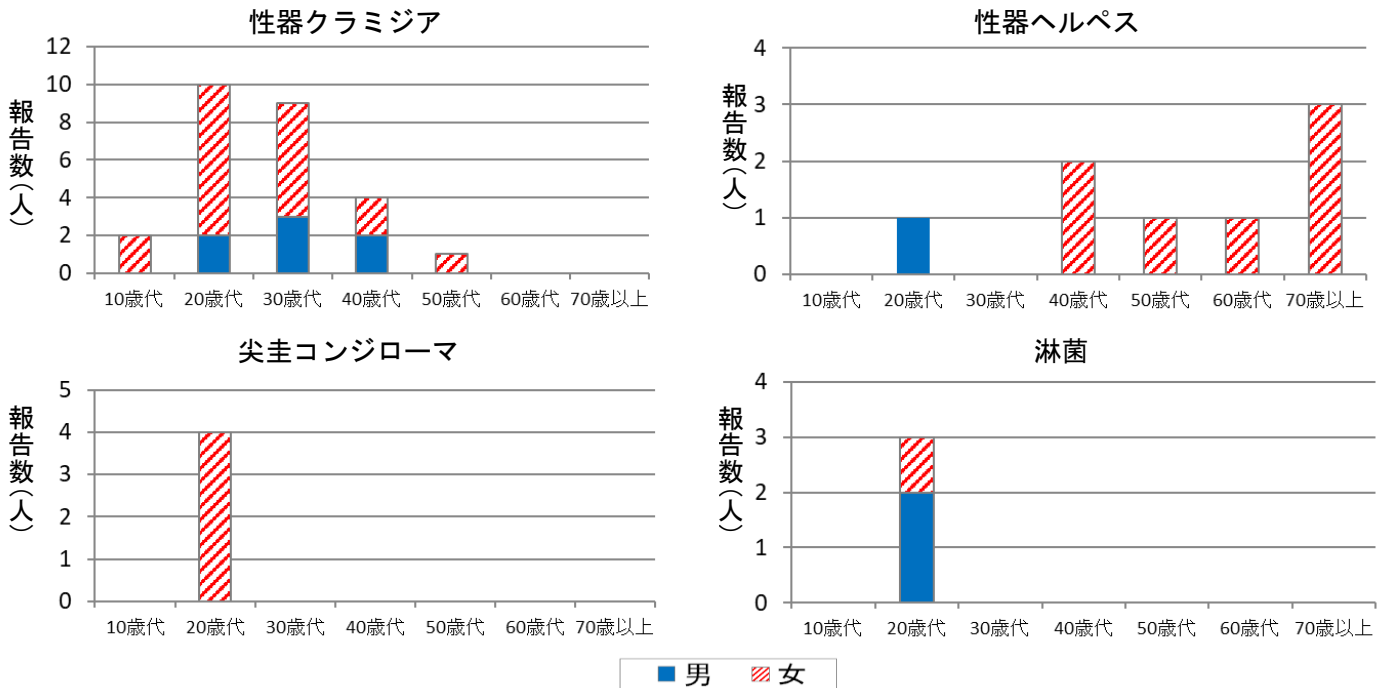
20歳代から30歳代が全体の約7割を占めた。(男性7人・女性19人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約1.6倍、昨年1月の約2.7倍であった。(男性1人・女性7人)

○尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月及び昨年1月の4.0倍であった。(女性4人)

○淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月の約0.4倍、昨年1月の約0.6倍であった。

(男性2人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,676人(4.8)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,508人(2.6)で前月比102%、性器ヘルペスウイルス感染症814人(0.83)で前月比103%、尖圭コンジローマ502人(0.51)で前月比98%、淋菌感染症852人(0.87)で前月比107%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は23人(3.3)で、前月比121%と増加した。また、昨年1月(3.3)と同率であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人(3.3)で、前月の約1.2倍、昨年1月と同率であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,414人(3.0)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,328人(2.8)で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症80人(0.17)で前月比94%、薬剤耐性緑膿菌感染症6人(0.01)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第06週(02月05日～02月11日)

疾病名		第05週	第06週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2270	1961	725	307	266	124	96	203	16	150	74
	定点当り	39.14	33.81	45.31	30.70	38.00	24.80	24.00	33.83	8.00	25.00	37.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	1038	786	135	105	161	43	122	74	28	88	30
	定点当り	17.90	13.55	8.44	10.50	23.00	8.60	30.50	12.33	14.00	14.67	15.00
RSウイルス感染症	報告数	1	1									1
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	75	95	26	13	5	17	7	7		7	13
	定点当り	2.08	2.64	2.60	2.17	1.25	5.67	2.33	1.75	0.00	1.75	13.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	216	201	80	22	20	29	11	18	1	12	8
	定点当り	6.00	5.58	8.00	3.67	5.00	9.67	3.67	4.50	1.00	3.00	8.00
感染性胃腸炎	報告数	464	411	108	75	29	45	59	48	9	29	9
	定点当り	12.89	11.42	10.80	12.50	7.25	15.00	19.67	12.00	9.00	7.25	9.00
水痘	報告数	2	1		1							
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	33	25	7	4		2				8	4
	定点当り	0.92	0.69	0.70	0.67	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	2.00	4.00
伝染性紅斑	報告数	4										
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	10	4	4	1					1	
	定点当り	0.28	0.28	0.40	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	1		1						
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	8	6	1	1						
	定点当り	1.50	1.33	2.00	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～6週 保健所受理分)

2類感染症	結核	8例(2)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例(1)	
				レジオネラ症	2例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	
	梅毒	24例(2)		侵襲性肺炎球菌感染症	2例

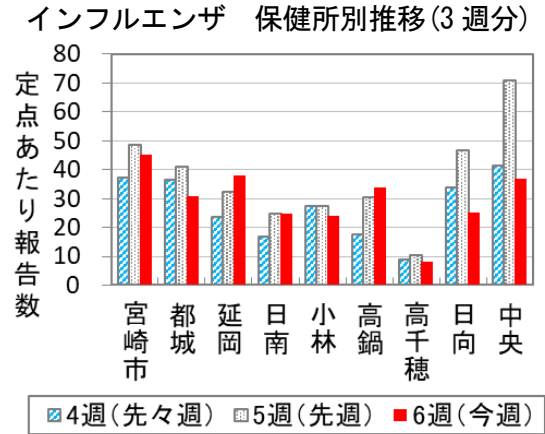
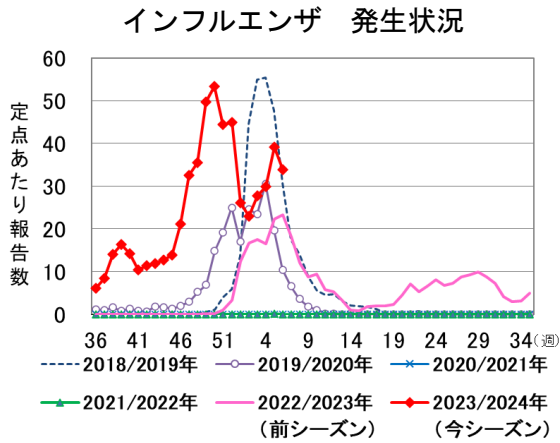
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第6週、全国第5週（再掲）》

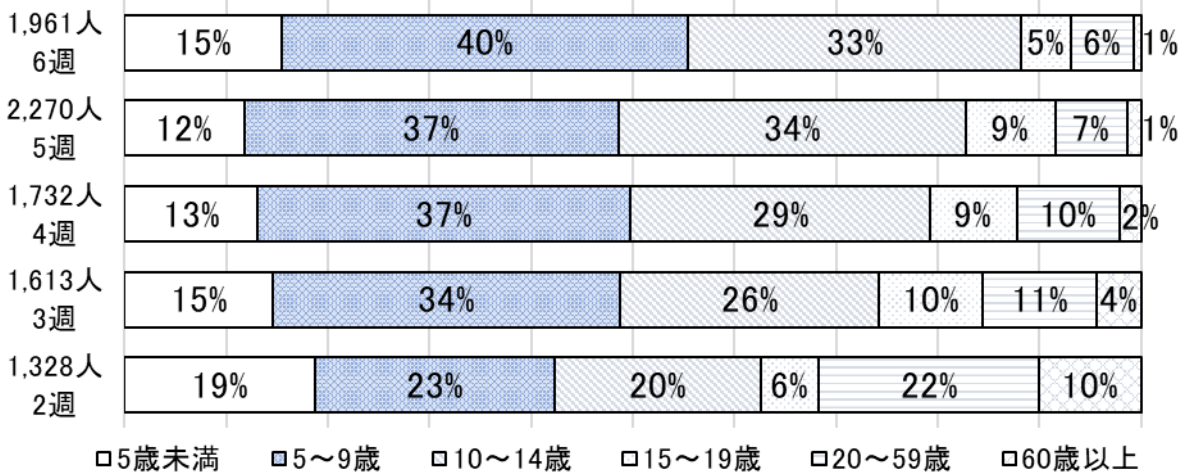
□ 県内第6週インフルエンザ発生動向

2月5日～2月11日までの1週間で1,961人(33.8)の報告があった。前週比86%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(13.1)の約2.6倍であった。

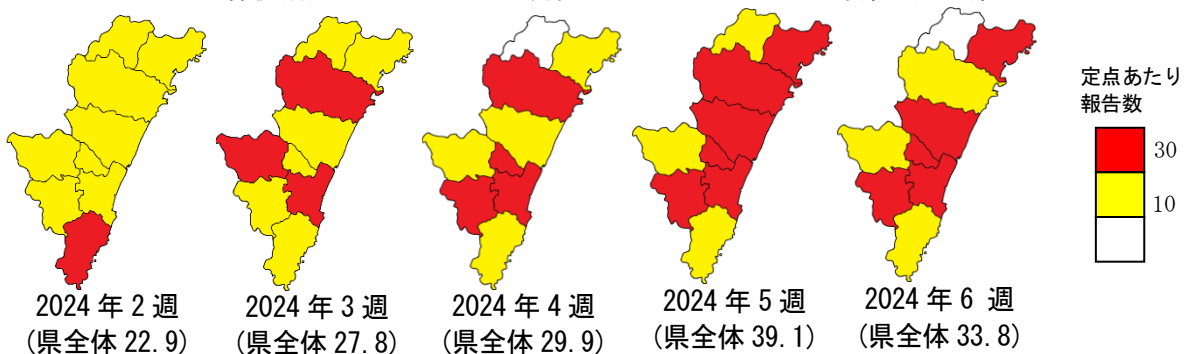
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



年齢群別割合の推移(2024年第2週～第6週)



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第2週～第6週



□ 全国第5週インフルエンザ発生動向

1月29日～2月4日までの1週間で111,501人(22.6)の報告があった。前週比118%と増加し、福岡県(57.4)、沖縄県(41.0)、佐賀県(40.3)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の11%、5-9歳が37%、10-14歳が31%、15-19歳が7%、20-59歳が12%、60歳以上が2%であった。